

ローヤルルマニュース

No.148

発行 ローヤル油機株式会社 2006年9月17日

〒979-0202 福島県いわき市四倉町上仁井田字家ノ前 107-4 TEL.0246-32-6657 FAX.0246-32-6658

Eメールアドレス GSP00013@nifty.com

HPアドレス <http://homepage1.nifty.com/loyal/>

値上げをしない「不思議な会社」 日本クエーカーケミカル株

いま、夜が明ければ何処かしらの潤滑油メーカーが値上げの通知をよこす。ひどいところは、5次だ6次値上げだといって勝手に送ってくる。こちらの言い分などは、まったくお構いなしにである。そんな中で、まだ一度も値上げをしない今時「不思議な会社」 日本クエーカーケミカル がある。生産しているのは、水溶性切削油が90%と残りは難燃性作動油や洗浄剤ぐらいなのだが。その秘密は・・・？

高崎物語 8

「ターボは、素直なのがいい。ミーコも兄ちゃんを手伝ってな。分かったな」「はい」

小さくて何も分らない妹も、祖母の凛とした言葉に励まされて元気な声で返事した。

祖母は日常の生活の中で、私たち兄妹にたくましく生きることを教えてくれた。そんな祖母も、私たちが荒町(下館市)に来る前の昭和二十七年に、この世を去っていた。

坂道の両側には、たくさんのお店が軒を連ねていた。洋品店・履物店・帽子屋・学用品店、その中に父の大好物である「せんべい」の十一屋があった。

十一屋のせんべいは、名刺二枚ほどの大きさで小エビの入った醤油味の手焼きせんべいである。四枚に割って食べられるように割れ目が入っていて、割ると香ばしい臭いがして私を引き付ける。小さく割ったのを口の中に入れて噛み砕くと、「パリッ、パリッ」という小気味よい音と同時に小エビの風味と

『下館・子供神輿』

醤油の味が程よくマッチして、口の中を満たしてゆく。父が会社から帰るとこのせんべいを酒の肴に、美味しそうに晩酌をしていた姿を思い出す。

坂を上りきった下り坂の途中には、小さな祠がありいつも赤いちゃんちゃんこを着せられた子供のお地藏さんが鎮座していた。羽黒神社の夏祭りが近づくころには、化粧直しをした子供神輿がお地藏さんの前に飾ってあった。

子供神輿の屋根には、本神輿と同じように鳳凰が載せてあり、四隅の紫の飾り綱には、金色に磨き上げられた目映いばかりの鈴と町内の名前が記された提灯が取り付けられていた。

宵祭りは、駅前の本町通りから西へ数キロ先の小高い羽黒神社の境内まで、沿道は香具師の店が並び近郷近在から来た見物人でいっぱいになる。本神輿を先頭に提灯を燈した神輿の行列は、子供神輿をあいだに挟むように通りを練り歩く。境内から見下ろす光の帯は、まるで精霊流しを見ているようにゆらゆらと揺れながらゆっくりと進んでくる。

この光景を目にするたびに、私もいつかこの子供神輿を担いでみたいと思っていた。

次号に続く。

あとがき

私なりに考えてみました。1つは、メーカーの目標である日本市場でのシェア拡大である。シェアが拡大すれば、当然生産量がアップする。2、装置産業の増産は、コストダウンに直結する。3、油種をシンプルにして、コストアップの要因を摘み取る。この企業の経営戦略なのかもしれませんが、立派なことです。価格の訂正だけで仕事の大半を割かれる現状では、こんな企業がもっとあると助かりますね。